

シリーズ豊前市 SDGs とは？ “誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」 産業とは？技術革新とは？これらの基盤をつくることで世界はどうなるのでしょうか？

“産業”とは、世界中の人々が生きるために必要なお仕事のことを言います。“技術革新”とは、新しい組み合わせによりどんどん問題を解決していくことを言います。

どうして産業と技術革新の基盤づくりが必要なのでしょう？

それは今、世界の人々が生きるために必要な仕事が足りていないから、そして新しい組み合わせにより解決できる問題がたくさんあるからなのです。今の世界には、電気がきちんと使えない人が約 26 億人(3 人に 1 人)、キレイなトイレが使えない人が約 25 億人(3 人に 1 人)、水を自由に使えない人が約 8 億人(9 人に 1 人)もいるのです。水道や電気などのインフラが整備されると、教育を受ける時間や技術を身につける時間ができ、産業の発展や技術革新が進み、豊かな生活が送れるようになると考えられます。産業や技術革新の基盤をつくることで「人々の生活水準の向上」や「持続可能な産業発展につながる技術革新」という大きな課題を解決していくことが出来るようになり、世界中の誰もが幸せで豊かな生活を送れるようになっていくことが可能になるのです。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

豊前市の取組 | 豊前防災すまっぼん 「豊前防災すまっぼん」は、避難所情報や災害に関する情報をすばやく確認できる便利なサイトです

近年増加している自然災害に直面した時に、いち早く元の状態に回復できるレジリエント（強じん）なインフラ構築が求められています。これからの持続可能な世界の為に必要不可欠であり、災害の多い日本としても重要な課題です。なかでも非常に重要なインフラとしてインターネット技術があり、コミュニケーションの方法を変えただけでなく、さまざまな新しいサービス（地方や離島にいても医療が受けられたり、スマートフォンやパソコンで買い物ができたり、お金をそれほどかけずに勉強をしたりすることなど）を生み出しました。インターネットは災害時にも非常に役立つ重要な技術となっています。

この技術を活用し、豊前市では、防災マップ、WEB 版ハザードマップ、防災無線の内容などのリンクをまとめた「豊前防災すまっぼん」を運営しています。避難所情報や災害に関する情報をすばやく確認できるだけでなく、スマートフォンの GPS 機能を活用し現在地から近くの避難所が調べられたり、避難所混雑情報を確認できたりします。台風や大雨、地震などの備えとしては是非ご活用ください。お問合せは 豊前市総務課 防災安全係 ☎82-1116

SDGs の主人公はわたしたち 身近なところにある SDGs 一人一人ができる取組事例

目標 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」は「持続可能な産業の発展とイノベーション拡大」を目標としています。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組が紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

- <わたしたちにもできること>
- ① 電気はどうやってつくられているか？水はどのように供給されているか？ など、自分たちのインフラ設備について考えたり話し合ったりすること
 - ② 世界の国々のインフラ設備の状況について興味を持つこと
 - ③ 災害復旧などの際に募金をすること
 - ④ 生活の中に、どんな新しい技術や新しいサービスが利用され生まれているか？興味を持つこと
- 株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)